

5月3日（土曜日） 快晴 午後 薄曇り

日の出 4時50分

外気温 氷点下0℃

6人部屋を4人でゆったりと使用して、熟睡することが出来ました。体力万全、気力充実、今日は元気に下山が出来そうだ！！



この時期の燕岳早朝の気温としてはかなり高めか？

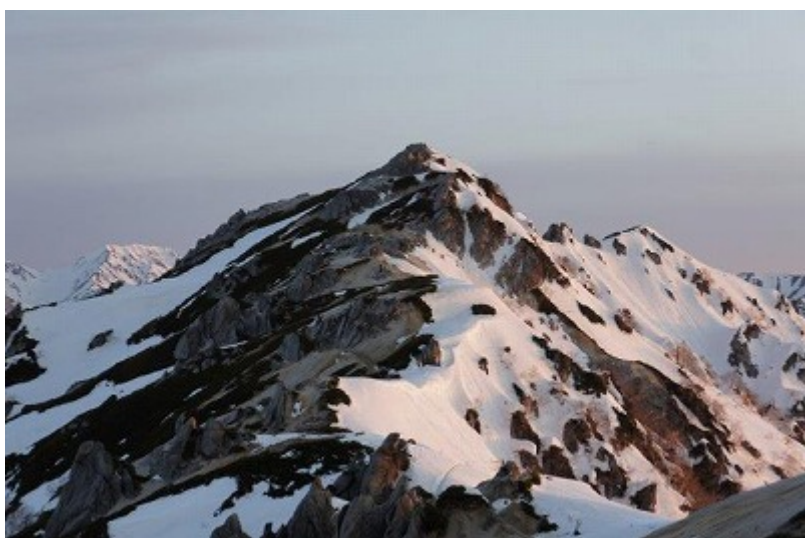
堀さん、石井さんが小屋を飛び出して朝焼けの写真収めてくれました。



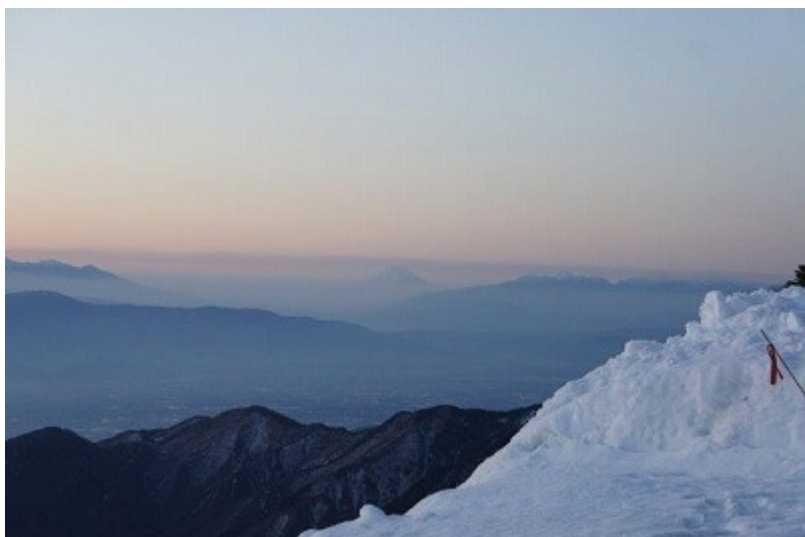
朝日に照らされた山小屋



日を受ける槍ヶ岳



早朝の燕岳



遙か南の方角には、微かに富士山も！



5時半朝食

4人とも体調良く、食も進みました。



たらふく食べて、満腹！満腹！



天気予報では、予想通り午前中まで快晴

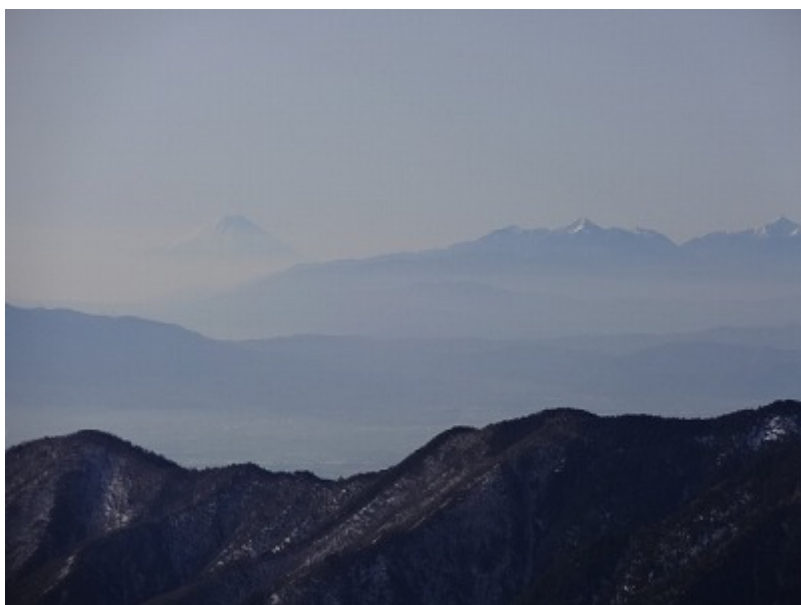


6時20分、山小屋出発



昨日はザラメ状の残雪も、朝は大分締まっていた。

山小屋のオーナーの話では、この時期の雪山では転ばないことが安全のための基本中の基本とか。斜面で転べば、ストックでは滑落を止めることは無理。ピッケルでもかなり難しいとのことでした。



下山道の前方遙かには、富士山のシルエットが浮かび上がっていました。



下りは快調で早い、早い！



6時55分には、早くも合戦小屋に到着



9時40分登山口に到着

5月3日は連休中の土曜日となり、かなり登山客は増えて上下の行きかいに難渋が見込まれていましたが、我々はいま渋滞をかわして順調に下って来られました。

今日の燕山荘は恐らくギュウギュウだろう。昨日使用した部屋は間違いなく6人で寝ることになるだろう。お気の毒だ。ともかく、我々は付いていたのだ！



好天と無事な下山に感謝して、集合写真一枚



有明荘に戻って、荷物整理をしてもまだバス発車時刻までは2時間半くらいの余裕がありました。

お陰で、これでもかと言うほどゆっくりと温泉に浸かることが出来ました。

日焼け止めクリームを塗らなかった半澤さんは、ご覧の通りの赤ら顔。

それにしても幸せそうですね～。満足そうですね～。



温泉の後は有明荘の前庭ベンチに腰掛け、地ビールで乾杯



有明荘の昼食

石井さんは、ソースカツ丼
吉松は、山賊焼き定食（肉は鶏肉）
肉を半分ずつして食べ比べました。どちらも
ゲー。



腹もふくれたところで、12時38分発穂高
駅行きのバスを待つ。



松本発14時49分のスーパーあずさ22号
に席をとり、またまた乾杯。

どこまでも幸せな燕岳登山でした。

今回の燕岳登山は何よりも天気に恵まれました。小屋のオーナーが、珍しいほどの登山日和と言うだけのことがありました。

このような日程と行程を計画して下さった熊本さんに感謝致します。

（それにしても、こんなチャンスに熊本さんが虫垂炎とは残念でした。）